

# 授業科目 徒手の理学療法学

【担当教員名】 亀尾 徹		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 徒手の理学療法に必須である臨床推論について習得する。</li> <li>2. 徒手の理学療法に関する定義、概念、理論を理解し、基本技術を習得する。</li> <li>3. 臨床推論過程と知識・技術を結びつけ、臨床応用可能なクリニカルパターンを構築する。</li> </ol>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 徒手の理学療法の歴史及び基本概念を説明できる。</li> <li>2. 徒手の理学療法に関わる基本的な知識を説明できる。</li> <li>3. 臨床推論の概要を説明できる。</li> <li>4. 基本的評価・治療手技について説明することができる。</li> <li>5. モーターコントロールについて説明することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業概要・総論～臨床推論総説			1～3	講義
2	臨床推論と評価			1～3	講義
3	関節運動学及び関節力学			2	講義
4	主観的評価及び身体機能評価の計画			2	講義
5	基本的身体機能評価概論			2～4	講義
6	治療展開			2～4	講義
7	モーターコントロール			5	講義
8	まとめ			1～5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		マニュアルセラピーに対するクリニカルリーズニングのすべて	Mark A. Jones, Darren A. Rivett, 亀尾 徹監訳 他	協同医書	2010・10,500円
その他の資料		配付資料			
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験			【履修上の留意点】		